

## 植竹恵美香 <女子大生が議員秘書になる－学びが開いた政治とジェンダーの道>

### <要旨>

本レポートでは、政治とジェンダーをテーマに、社会問題に対して無関心であった私が、民法改正に興味を持ち、大学での学びや市民活動を経て、議員秘書になるまでの過程において自身の内面的な変化を交えながら、現代における政治とジェンダーについて考える。

第1章では、政治に対して疑問や怒りを抱きつつも積極的に関心を持たなかった私が、大学で受講した講義を契機に、ジェンダーを通じた社会の在り方に関心を持ち、学ぶことの面白さに目覚めるまでの心境の変化を辿る。第2章では、議員秘書のインターンや、市民団体での活動を通して、ジェンダーは学びとともに運動を展開し、実際に社会に対して声をあげることの大切さを知ったことで、社会に対する考え方に変化が起きる。第3章では、市民活動を経て、国会議員の秘書となり、政治を内側から見るようになったことで、政治や男女平等参画社会に対する考えにも変化があり、自分の展望をより明確にする。

## 望月晶子 <性暴力被害者の支援を行う NPO を設立・運営して>

### <要旨>

#### 1. 私達の活動概要

電話相談を平日の14時から17時、メール相談を週2回の返信、面接相談を必要に応じて行い、被害者が参加する交流会（何かを体験したり作ったりするイベント）の開催。

#### 2. 性暴力被害者を専門とする支援センターの必要性

「犯罪被害」とひとくくりには適した支援は困難。性暴力被害者特有の問題を理解し、ここから相談して大丈夫、という安心感を与えられる場所が必要。

#### 3. 相談センター設立の経緯

第2次犯罪被害者等基本計画が制定されても、行政は動かないので、思いを同じくする人々、各種専門家や被害当事者等10人で設立した。

#### 4. 相談実績

3年で電話相談1,000件以上、メール相談500件弱。電話相談の内訳は、強姦、強姦未遂が最多で、深刻な相談が多い。男性の被害者も1割近くいる。現在被害が継続中の人から、10年以上前に被害にあった人まで、被害時期は様々。

#### 5. 今後の課題

性暴力の多様化に法的な整備が付いていない、民間が支援を担っている等、社会全体で改善すべき課題は多々ある。